

特別セミナー

人生 100 年時代に向けた製品開発

—香粧品および健康食品を中心に—

平均寿命が延びるに伴い、健康寿命をいかに維持し、いかに過ごすかが注目されています。肉体的にも精神的にも豊かな生活を送り、人生を楽しむ製品開発が年々増えてきています。本セミナーでは、玉石混淆の製品開発の中で、**信頼のおけるエビデンスに裏打ちされた香粧品と健康食品**に焦点を当て、この分野の第一線でご活躍の研究者の方々にご講演いただきます。

これまで、多くの美と健康に関わる製品が開発され、その種類や成分も多岐にわたっています。種々の分析技術や解析技術の進歩に伴い、**新たな成分や機能が注目され**、それを活かすための新たな素材や技術の開発が必要になってきています。また、多様なライフスタイルや消費者ニーズに対応するためにも、多くの革新的な材料や技術が望まれています。これらのニーズに応えるためには、技術や製品に関する情報の収集は重要な課題であり、製品開発にとって有用なことです。研究開発の現場では、製品の有効性や安全性を適正に評価することは大切ですが、多くの情報の中からより良い情報だけを選ぶのも難しいのが現状です。

今回のセミナーは、精神面および肉体面の向上を支える多くの製品開発の中から信頼できる有用なものを選びました。研究開発に従事しておられる研究者、技術者はもとより企画・営業開発に携わっておられる方々にも、今後の仕事に参考になり、また活用していただけるものと考えております。

ぜひ、この機会に多数ご受講くださいますようお願い申し上げます。

と き 平成29年12月12日(火) 9:30~17:00

ところ (地独) 大阪産業技術研究所 森之宮センター

(〒536-8553 大阪市城東区森之宮1丁目6-50)

地下鉄中央線あるいは長堀鶴見緑地線森ノ宮駅下車(4番出口)またはJR環状線森ノ宮駅下車、東へ300m、都市再生機構を北へ300m、森之宮小学校北隣(徒歩10分)

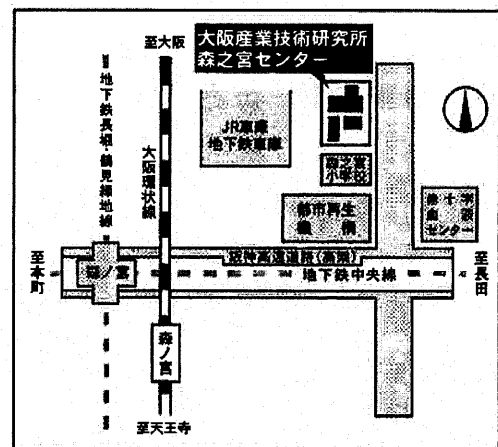
主 催 (一社) 大阪工研協会

(<http://www.osakaira.com>)

後 援 (地独) 大阪産業技術研究所

(<http://www.omtri.or.jp/>)

協 賛 日本化粧品技術者会



— 申 込 要 領 —

◎受講費……大阪工研協会会員 } 12,300 円 }
 協賛団体会員 } } テキスト、消費税含む
 学 生 5,000 円 }
 — 般 20,500 円 }

◎定員…… 100名(申込先着順)

◎申込〆切日…… 平成29年12月5日(火)

◎申込方法…… 下記申込書に必要事項を明記のうえお申し込みください。

〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50

(地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター内

大阪工研協会講習会事務局 TEL 06-6962-5307 FAX 06-6963-2414

E-mail:info@osakaira.com http://www.osakaira.com

◎送金方法…… 現金書留または三菱東京 UFJ 銀行今里北支店「大阪工研協会講習会事務局」
 普通預金口座(口座番号 0979828)へ

◎参加証…… 受講費払込みと同時に発行いたします。

お申込みいただいたお名前等の個人情報、受講確認および今後の講習会ご案内以外の目的には
 使用いたしません。

特別セミナー 人生100年時代に向けた製品開発
 —化粧品および健康食品を中心に—

平成 29 年 月 日

受 講 申 込 書

(会員資格は必ずご記入ください。)

社 名	(連絡担当者)	会 員 資 格	大 阪 工 研 協 会 □ 大 協 賛 団 体 会 員 □ 学 生 □ — 般 □
所 在 地	〒 _____		
TEL			
FAX			
Ema i l			
会 費	円 × 名 分 = 円		
受 講 者 氏 名		所 属 (部 課 名)	
送 金 方 法	<input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 銀行振込	請 求 書	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不 要

—— セミナー内容 ——

◎ 化粧品開発に求められる技術とその開発事例

..... (9:30~10:30)

ナリス化粧品(株) 研究開発部 井上明典

化粧品業界は、異業種からの参入が増加し、成熟した市場と言われて久しいが、今尚、異なる価格帯、販売チャネルでの多様な消費者ニーズに応えるため、その競争は激化している。消費者の心を掴むためには、新しい効果成分、従来にない機能およびテクスチャーの開発等、技術開発に磨きをかけて商品の差別化を図る必要がある。本講では、化粧品開発に用いられる技術について、当社での化粧品および化粧品原料開発事例を交えながら紹介する。

◎ 最近の化粧品のトレンドと国内外の原料動向について

..... (10:35~11:35)

岩瀬コスファ(株) 営業本部 研究開発部 門 隆 之

サンケア、美白などのエイジングケアへの関心、男性のスキンケアへの関心の高まり、日本で初めて「シワを改善する」という効果効能が認められた医薬部外品の販売、そして日本製化粧品のアウトバウンドの追い風などにより、日本の化粧品市場は引き続き堅調である。本講演では、日本および海外の化粧品市場の変遷、日本を取り巻くアジア市場について、そして日本市場への原料導入における今後の課題について紹介する。

◎ 酵素技術によるグリコーゲンの開発と化粧品への応用

..... (11:40~12:40)

江崎グリコ(株) 健康科学研究所 古屋敷 隆

江崎グリコ(株)健康科学研究所では、長年培ってきた糖質関連酵素技術を利用して、植物由来原料からグリコーゲンを合成する技術を開発した。このグリコーゲンの角化細胞への生理機能を調べた結果、ヒアルロン酸やセラミドといった潤いに関連する成分の産生量を増やすこと、紫外線に対する細胞の防御能力を高めることが明らかになった。これらの効果はヒト試験でも有効性が確認された。そこでグリコーゲンを化粧品素材として販売するとともに、自社化粧品ブランド「gg」を開発した。

◎ 日華化学における毛髪的美と健康に関する取り組み

..... (13:40~14:40)

日華化学㈱ デミコスメティクス 化粧品研究部 亀岡郁雄

デミコスメティクスは、75年続く日本の繊維加工業界のリーディングカンパニーである日華化学㈱の化粧品部門として、1941年に誕生しました。「洗う」「滑りを良くする」「染める」といった繊維加工の知識と技術を、シャンプーやトリートメント、パーマ、ヘアカラーなどに応用しています。「製品を売らずして技術を売る」の信条を持って、美容業界では思いつかないような新しい技術を発信できるニッチカンパニーを目指しています。

◎ 富士フィルム化粧品事業にみる新規事業の開拓 (14:50~15:50)

富士フィルム㈱ R&D 統括本部 先端コア技術研究所 中村善貞

富士フィルムは、主力製品である「写真フィルム」の市場がシュリンクする中、第二の創業として新規事業の開拓を行った。その一つとして、化粧品事業を立ち上げてきた。現時点で、この化粧品事業立ち上げを振り返り、その構想、開発段階から、現在までで、何がポイントだったのかを考察し、新規事業開拓に必要なこととは何なのか議論したい。

◎ アミノ酸の機能評価とスポーツサプリメントへの応用 (16:00~17:00)

協和発酵バイオ㈱ マーケティング部 西村明仁

アスリートが本来のパフォーマンスを発揮する上では、普段の食事に加えて、アミノ酸等の個別の栄養素を補足的に用いる事がポイントとなる。これら栄養素の補給に関しては、実際に練習や試合に臨むにあたって、「どのタイミングで、何を摂取するか」、という考え方が特に重要となってくる。本セミナーでは各運動シーンに適した栄養素と、それらを活用したスポーツサプリメントの開発事例について紹介したい。